

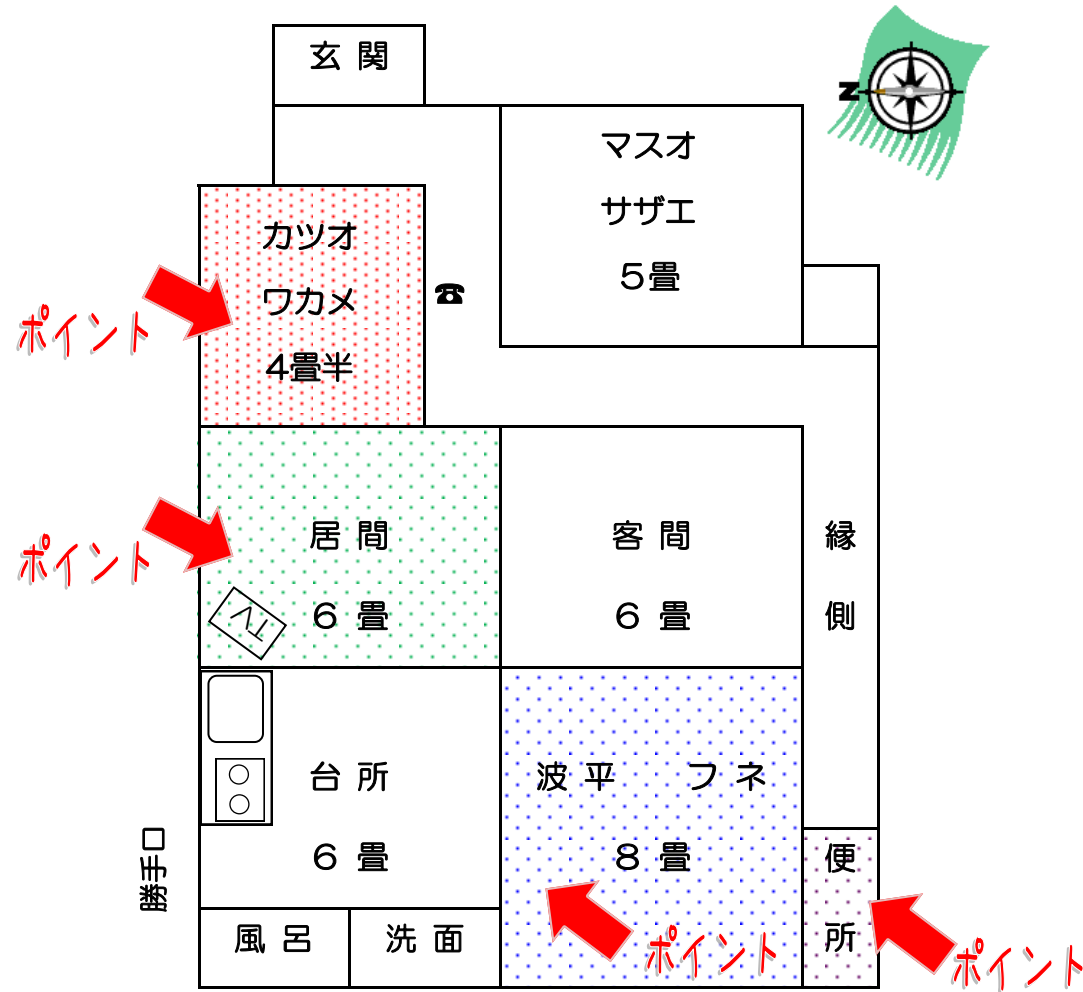
# お役立ち情報

# 間取りと家族関係 サザエさんちを知らう

間取りが家族関係に影響する ~サザエさん一家が仲良しな理由~

## 家が人に与える影響

一昔前ですが建材に含まれる有害物質は人体に害を与えるという問題がありました。  
 (ハウスシックやホルムアルデヒド)  
 壁紙の色ひとつで人が感じる印象も変わります。  
 「家の間取りも」人、家族に影響を与える要素のひとつなんですよ。



## サザエさんちの間取りの秘密を知らう!

### ポイント① 一家団欒を作るための間取り♪

家の中心に家族が集まる場所を作る ☆家の中心にリビングを

サザエさん一家はいつも自然に茶の間に集まっている

狭い子供部屋 ☆子供部屋は最低限の広さに

カツオとワカメは、寝るときと勉強するとき以外は居間に居る

寝る・勉強する部屋として、テレビなどを置くスペースも不要。子供が部屋にこもらないように広い部屋にしない。

### ポイント② 子供の動きが把握できる間取り♪

子供の気配を感じる間取り ☆子供部屋はどこからも出入りがわかる位置に

カツオは隠れて遊びに行けない 家族の誰かが子供の気配を感じれる部屋割り

子供部屋⇒トイレ 親の寝室の前を通る

子供部屋⇒玄関 向かいに姉夫婦の部屋

### ポイント③ 父親の威厳を表す間取り♪

部屋割りは親の寝室を優先 ☆一番良い位置、広さは親が取る

いぎの家では波平が絶対権力者

家の中で1番良い部屋は親の部屋とする。(南側・広いスペース)

子供を優先しがちですが、それは間違いかも!?

これは皆さんご存知のサザエさんちの間取り図です。

『いぎの家』は、木造平屋の7人家族ですよ、

じゃあ家族のイメージはというと

『みんなが居間に集まる仲よし家族』

『お父さん(波平)が絶対的な大黒柱』

それに対して、現代の家族関係は?

『食事や団らんは家族バラバラ』

『子供は部屋に閉じこもって顔も合わせない』

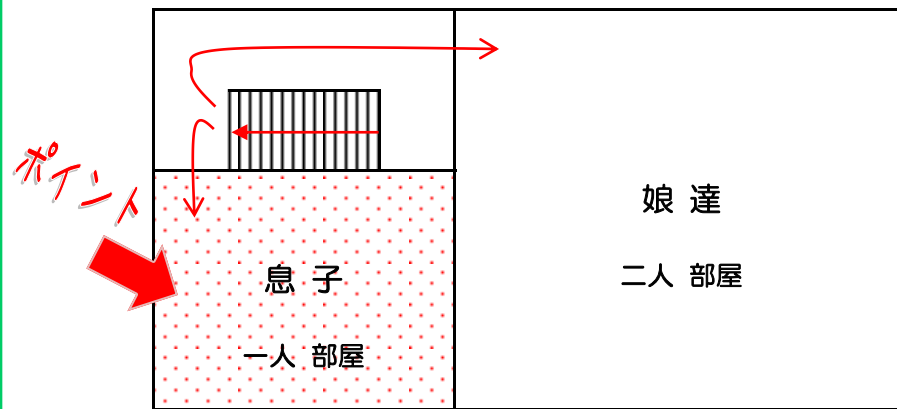
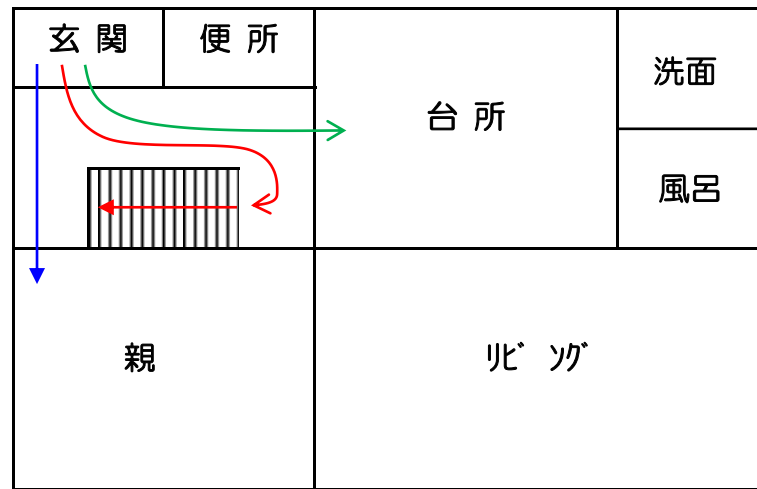
この違いの要因のひとつは、間取りの違いだと言われます。



# お役立ち情報

## 間取りと家族関係 酒鬼薔薇宅を知らう

間取りが家族関係に影響する ～少年犯罪の起こった家～



少年犯罪が起こった間取りの秘密を知らう！

### ポイント① 部屋割りのミス

子供部屋をどこにするか ☆子供は見える範囲に！

サザエさんちと比べてみて下さい、十分すぎる部屋を子供に与え、完全孤立した空間です。ちなみにこの家は建売住宅を購入したそうです。部屋割りに限界はありますが、子供優先の部屋割りが裏目に出たケースですね。

### ポイント② 家族の動線が分離 ※動線：人が動く経路

家族が顔を合やすようにわざと動線を交差させる！

例えばレストランを設計する際は、お客（店内）・厨房・搬入・従業員、これらの動線が交差しないようにします。でも住宅の場合は、わざと交差させて家族が常に顔を合わせるように仕向ける場合があります。

この2つのポイントをこの酒鬼薔薇宅の間取りで見てください。

『玄関⇄階段⇄子供部屋』直通 『トイレ⇄階段⇄子供部屋』直通

特に息子（酒鬼薔薇）は、家族の誰にも会わずに生活が出来るという事です。

家に居るのか出かけているのかさえ親は把握できていなかったと言います。

さらに父親も帰宅後、リビングに行くことなく、玄関から直接部屋に閉じこもっていたらしいです。

これは神戸連続児童殺傷事件(1997年)で『酒鬼薔薇』と名のっていた少年の家の間取りです。

少年犯罪は家庭環境が大きく関係すると言われていますが、その家族を作る要因として「家の間取り」も関係します。

家の間取りは、子供の心理にも影響を及ぼすと言われてるんですよ。



昔、子供が非行に走る原因は、『片親と貧困』と言われていました。

現代では、『離れの息子と2階の娘』と言われていました。

子供のためと広い部屋や、静かな離れの部屋を与えるのが良いとは限らないです。

# お役立ち情報

# 間取りと家族関係

## 間取りが家族関係に影響する ～まとめ～

### 家の間取りの移りかわり

昭和30年代、戦後の人口集中による公団の**最小住宅2DK**が多く建設され「団地」が誕生しました。その後**欧米文化の流入**とともに家の間取りも変化してきました。

### 欧米かぶれの間取りの問題

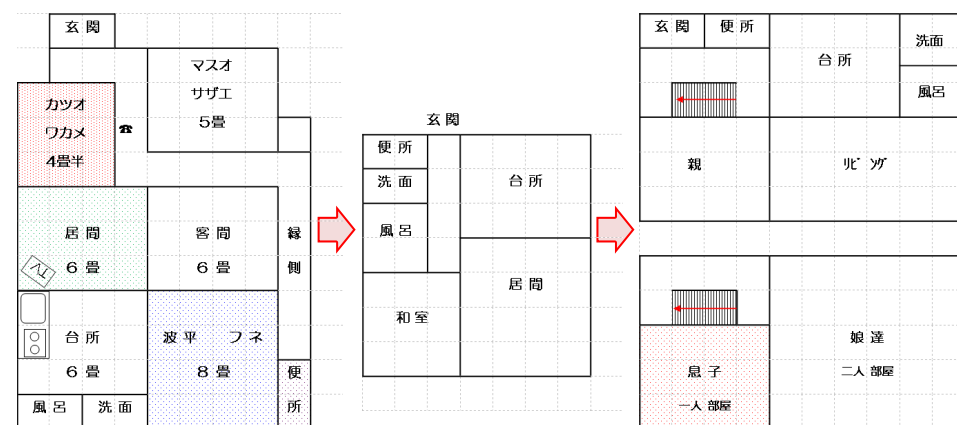
日本人は個室を使い分けるのが下手くそ！

欧米では各部屋の用途に合わせ、「人が移動する」習慣があります、日本では1部屋で食事をしちゃぶ台を片付け布団を敷いて寝る「人の行為に合わせて部屋の用途を変える」習慣があります。

子供部屋の認識が違う！

欧米では子供部屋はプライベート空間として与え独立心を養います、勉強や食事は必ず家族の居る空間でするようにしています。

日本ではどうでしょうか？ 子供部屋＝勉強部屋の認識が高いのでは？ 個室では子供がなにをしているのかわからないなんてことも…



昔の間取り  
「田の字型」  
サザエさんち

昭和30年代  
「2DK」  
公団団地

近代一戸建て住宅  
「欧米風個室型」  
酒鬼薔薇宅

## 親優先の間取り 子ども部屋が1番じゃない！

子供に1人1室与えたい気持ちは分かりますが、1番良い部屋を子供に、北向きの余り空間を親の寝室にするのは…

☆子供中心は親の威厳の消失 少年犯罪の引き金に

☆子供が独立すると 1番良い部屋が空き部屋や物置部屋に

## 子供部屋の間取り 少年犯罪を生む！

少年犯罪や引きこもりの原因には、子供部屋が関係します。子供の性格を部屋が左右する？

☆子供部屋の「位置」 家の1等地は×、家族の目が届く位置、完全孤立生活をできる配置は×

☆子供部屋の「使い方」 寝る部屋として考える、テレビやパソコンはリビングで！

勉強も家族がいるリビングでする方が親に質問して家族の関係が良くなったり、集中力が上がると言われています。

☆子供部屋の「大きさ」 最低限で十分！ 極端に言えば寝る部屋なので3畳でOK

## 家族の間取り 家族が顔を合わすように仕向ける！

最近、多いのはリビングに階段がある家。子供が2階の自分の部屋に行くときに必ずリビングを通り親と顔を合わせるようしてあります。家族の動線がわざと交差するように計画するのが大切！

☆親が子供の動きを把握できない間取りは×



今回お話ししたのは、あくまで理想。

敷地の大きさや方位などにより設計には様々な制限が発生します。

ただ、家族の関係、特に子供との関係は少なからず、家の間取りが影響します。

設計や部屋割りをするとき今回の話を思いだして、出来る限り取り入れてみてはどうでしょうか？